

避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

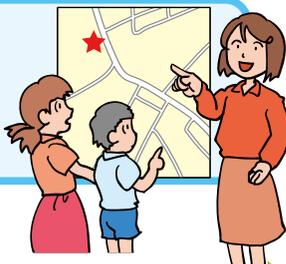
避難行動判定フロー

あなたがとるべき
避難行動は？

必ず取り組みましょう

平時に
確認

総合防災マップ(本書)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



はい

自宅がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

参照

- 土砂災害(特別)警戒区域
- 洪水浸水想定区域(利根川・霞ヶ浦・小貝川等)
- その他の災害区域

⇒4~6ページ「風水害等に備えて」をご覧ください

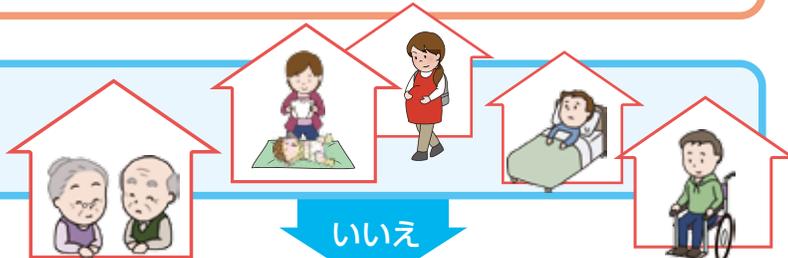
に該当する世帯は



ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
または、自家用車で高台への避難は可能ですか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市が指定している指定避難所および指定緊急避難場所に避難しましょう

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅、または、毛布等を準備のうえ自家用車で高台に避難しましょう

警戒レベル4が出たら、市が指定している指定避難所および指定緊急避難場所に避難しましょう

【早めの避難に関して】

災害時には早めの避難が大切です。自分や家族の身を守るために、避難情報等の発令、避難所の開設の有無に関わらず、危険だと判断した場合には、知人宅や周囲の高台など、ご自身が安全だと思う場所に早めに避難しましょう。